(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-152164
(P2012-152164A)
(43)公開日　平成24年8月16日(2012.8.16)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A01K 97/06	(2006.01)	A01K 97/06	501	2B109

審査請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 21 頁）

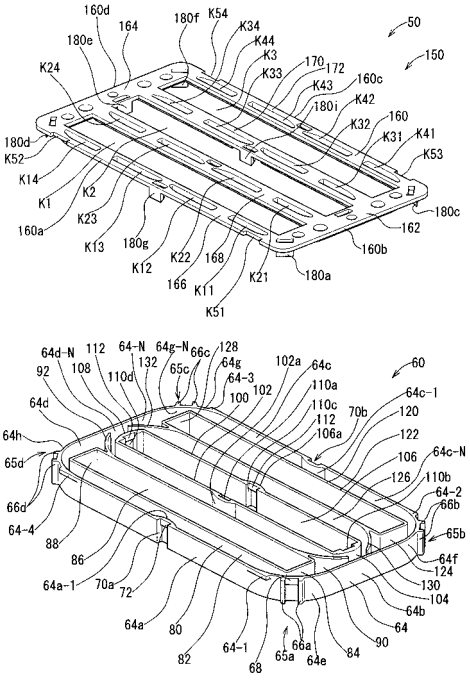
(21)出願番号　特願2011-15403(P2011-15403)
(22)出願日　平成23年1月27日(2011.1.27)

(71)出願人　594020536
有限会社ヤマワ産業
岐阜県多治見市滝呂町６丁目１１６番地
(74)代理人　100093931
弁理士　長屋　直樹
(72)発明者　古田　徹哉
岐阜県多治見市滝呂町６丁目１１６番地
有限会社ヤマワ産業内

Ｆターム(参考)　2B109 BA03　BA06

(54)【発明の名称】釣り用仕掛け収納ケース

(57)【要約】
【課題】釣針保持部と釣糸収納部とを有する釣り用仕掛け収納ケースにおいて、仕掛けにおけるハリスが長い場合でもハリスを円滑に収納することができる釣り用仕掛け収納ケースを提供する。
【解決手段】外側ケースには、内側ケースが収納され、内側ケースは、本体部６０と取付部１５０とを有し、本体部６０には、釣り針を保持するためのマットを収納するための枠状部８０、１００、１２０と、枠状部８０から連設されたガイド部９０、９２と、枠状部１２０から連設されたガイド部１３０、１３２とが形成され、側壁部６４には、湾曲部６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈとが設けられている。取付部１５０の爪部と係合する爪部は、側壁部６４の外側と、枠状部１００の内側に形成されている。
【選択図】図４



【特許請求の範囲】
【請求項１】
釣り用の仕掛けを収納するための釣り用仕掛け収納ケースであって、
ケース本体部（６０）と、ケース本体部の上面に設けられ、透明部材その他の透光性を有する部材により形成された上面取付部（１６０）と、釣り針保持部（２００）とを有し、
ケース本体部（６０）が、
角部にアールが形成された方形状の外周を有する内底面（６２－Ｎ）と、
該内底面の外周から立設した内側壁で、互いに平行な一対の第１内側壁（６４ａ－Ｎ、６４ｃ－Ｎ）と、第１内側壁と直角をなす互いに平行な一対の第２内側壁（６４ｂ－Ｎ、６４ｄ－Ｎ）と、第１内側壁と第２内側壁間に形成され内底面のアールに対応して湾曲して形成された第３内側壁（６４ｅ－Ｎ、６４ｆ－Ｎ、６４ｇ－Ｎ、６４ｈ－Ｎ）とを有する内側壁（６４－Ｎ）と、
内底面から上方に立設して形成され、内側壁と間隔を介して形成された複数の枠状部からなる枠状部群で、隣り合う枠状部が互いに間隔を介して形成されるとともに、複数の枠状部における各枠状部が、第１内側壁と平行な一対の第１板状部（８２、８６、１０２、１０６、１２２、１２６）と、該一対の板状部の両端を連結する一対の第２板状部（８４、８８、１０４、１０８、１２４、１２８）とにより枠状を呈する枠状部群（８０、１００、１２０）と、
複数の枠状部において隣り合う枠状部における互いに対向する第１板状部のいずれかから連設されるとともに内底面から立設して形成されたガイド部で、隣り合う枠状部間の空間に導かれた釣糸を第２内側壁に向けて第２内側壁に対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、第２内側壁に近づくほど第２内側壁との角度が小さくなるように湾曲した板状を呈し、その第２内側壁側の先端と該先端が対向する第２内側壁との間に間隔が設けられたガイド部（９０、９２、１３０、１３２）と、
を有し、
該上面取付部が、ケース本体部の内側壁よりも大きい外周の輪郭を有する略板状を呈し、互いに平行な第１辺部（１６０ａ、１６０ｃ）と第１辺部と直角を呈し互いに平行な第２辺部（１６０ｂ、１６０ｄ）とを有し、上面取付部をケース本体部に取り付けた際に、第１辺部が第１内側壁に沿って位置し、第２辺部が第２内側壁に沿って位置するように形成され、枠状部の形成箇所に対応して形成された第１開口部（Ｋ１、Ｋ２、Ｋ３）と、隣り合う第１開口部間の領域と第１辺部に沿った領域とに形成された釣糸を挿通するための第２開口部（Ｋ１１、Ｋ１２、Ｋ１３、Ｋ１４、Ｋ２１、Ｋ２２、Ｋ２３、Ｋ２４、Ｋ３１、Ｋ３２、Ｋ３３、Ｋ３４、Ｋ４１、Ｋ４２、Ｋ４３、Ｋ４４）とを有し、
該釣り針保持部が、枠状部内に設けられていることを特徴とする釣り用仕掛け収納ケース。
【請求項２】
一方の第１内側壁に対向する枠状部である第１枠状部（８０）と、他方の第１内側壁に対向する枠状部である第２枠状部（１００）と、第１枠状部と第２枠状部の間に設けられた第３枠状部（１２０）の３つの枠状部が設けられ、
上記ガイド部が第１ガイド部（９０）と第２ガイド部（９２）と第３ガイド部（１３０）と第４ガイド部（１３２）の計４つ設けられ、第１ガイド部が、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２内側壁側の端部領域から一方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第２ガイド部が、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２内側壁側の端部領域から一方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第３ガイド部が、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２内側壁側の端部領域から他方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第４ガイド部が、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２内側壁側の端部領域から他方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成されていることを特徴とする請求項１に記載の釣り用仕掛け収納ケース。

【請求項３】
釣り針保持部が、釣り針を差し込んで保持可能な弾性部材により形成されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の釣り用仕掛け収納ケース。
【請求項４】
釣り用仕掛け収納ケースが、内側ケース（５０）と、内側ケースを収納する外側ケース（１０）とを有し、
上記ケース本体部（６０）と、上記上面取付部（１６０）と、上記釣り針保持部（２００）とが内側ケースに設けられ、
上記ケース本体部が、
角部にアールが形成された方形状の板状を呈し、上記内底面を有する底面部（６２）と、
底面部の外周端から上方に立設した側壁部で、上記第１内側壁を内側に有する互いに平行な一対の第１側壁部（６４ａ、６４ｃ）と、第１側壁部と直角な方向に形成され、上記第２側壁を内側に有する互いに平行な第２側壁部（６４ｂ、６４ｄ）と、第１側壁部と第２側壁部間に形成され上記第３内側壁を内側に有する湾曲部（６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈ）とを有し、外側の面に取付部の爪部と係合する爪部（６８）を有する側壁部（６４）と、
を有し、
上記上面取付部には、上面取付部の下方に突出して形成された爪部群で、側壁部に形成された爪部と係合する爪部と、枠状部に内側に形成された爪部と係合する爪部とからなる爪部群（１８０ａ～１８０ｊ）が形成され、上面取付部の爪部をケース本体部の爪部に係合させて、上面取付部をケース本体部に取り付けた場合に、上面取付部がケース本体部の上面に設けられることを特徴とする請求項１又は２又は３に記載の釣り用仕掛け収納ケース。
【請求項５】
外側ケースが、内側ケースを収納する外側ケース本体部（２０）と、外側ケース本体部に対して回動する蓋部（３０）とを有し、ケース本体部の側壁部の湾曲部の側面に第１突状部（６４－１、６４－２、６４－３、６４－４）が形成され、外側ケース本体部の内側の側面に、第１突状部に係止する第２突状部（２１）が形成され、内側ケースが外側ケース本体部に収納された状態では、第２突状部が第１突状部の上面に係止することを特徴とする請求項４に記載の釣り用仕掛け収納ケース。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、釣り用の仕掛けを収納する釣り用仕掛け収納ケースに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来より、釣り用の仕掛けを収納するケースとして、特許文献１に示すものが存在する。
【０００３】
すなわち、特許文献１の釣用仕掛け収納ケースにおいては、収納ケース内に設けた台板によりその上下側に釣針収納部と釣糸収納部を夫々形成した釣用仕掛収容ケースにおいて、前記台板の長手方向の略中央部に釣糸収納部に通じる孔を設けると共に該孔の側部における台板の略全長に亘り釣針保持部を設けている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】実開平６－６０３７９号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】

【０００５】
しかし、特許文献１の釣用仕掛け収納ケースにおいては、釣糸収納部が直方体形状に形成され、ハリスを挿入する長孔とは反対側の台板と該台板に隣接する板部とが直角をなしているので、仕掛けにおけるハリスが長い場合には、該台板と該台板と直角の板部とにより構成される角部に引っかかってしまい、ハリスを収納するにはハリスを無理に押し込まなければならず、ハリスを円滑に収納することができないという問題があった。
【０００６】
そこで、本発明が解決しようとする問題点は、釣針保持部と釣糸収納部とを有する釣り用仕掛け収納ケースにおいて、仕掛けにおけるハリスが長い場合でもハリスを円滑に収納することができる釣り用仕掛け収納ケースを提供することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
本発明は上記問題点を解決するために創作されたものであって、第１には、釣り用の仕掛けを収納するための釣り用仕掛け収納ケースであって、ケース本体部（６０）と、ケース本体部の上面に設けられ、透明部材その他の透光性を有する部材により形成された上面取付部（１６０）と、釣り針保持部（２００）とを有し、ケース本体部（６０）が、角部にアールが形成された方形状の外周を有する内底面（６２－Ｎ）と、該内底面の外周から立設した内側壁で、互いに平行（略平行としてもよい）な一対の第１内側壁（６４ａ－Ｎ、６４ｃ－Ｎ）と、第１内側壁と直角をなす互いに平行（略平行としてもよい）な一対の第２内側壁（６４ｂ－Ｎ、６４ｄ－Ｎ）と、第１内側壁と第２内側壁間に形成され内底面のアールに対応して湾曲して形成された第３内側壁（６４ｅ－Ｎ、６４ｆ－Ｎ、６４ｇ－Ｎ、６４ｈ－Ｎ）とを有する内側壁（６４－Ｎ）と、内底面から上方に立設して形成され、内側壁と間隔を介して形成された複数の枠状部からなる枠状部群で、隣り合う枠状部が互いに間隔を介して形成されるとともに、複数の枠状部における各枠状部が、第１内側壁と平行（略平行としてもよい）な一対の第１板状部（８２、８６、１０２、１０６、１２２、１２６）と、該一対の板状部の両端を連結する一対の第２板状部（８４、８８、１０４、１０８、１２４、１２８）とにより枠状を呈する枠状部群（８０、１００、１２０）と、複数の枠状部において隣り合う枠状部における互いに対向する第１板状部のいずれかから連設されるとともに内底面から立設して形成されたガイド部で、隣り合う枠状部間の空間に導かれた釣糸を第２内側壁に向けて第２内側壁に対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、第２内側壁に近づくほど第２内側壁との角度が小さくなるように湾曲した板状を呈し、その第２内側壁側の先端と該先端が対向する第２内側壁との間に間隔が設けられたガイド部（９０、９２、１３０、１３２）と、を有し、該上面取付部が、ケース本体部の内側壁よりも大きい外周の輪郭を有する略板状を呈し、互いに平行（略平行としてもよい）な第１辺部（１６０ａ、１６０ｃ）と第１辺部と直角を呈し互いに平行（略平行としてもよい）な第２辺部（１６０ｂ、１６０ｄ）とを有し、上面取付部をケース本体部に取り付けた際に、第１辺部が第１内側壁に沿って位置し、第２辺部が第２内側壁に沿って位置するように形成され、枠状部の形成箇所に対応して形成された第１開口部（Ｋ１、Ｋ２、Ｋ３）と、隣り合う第１開口部間の領域と第１辺部に沿った領域とに形成された釣糸を挿通するための第２開口部（Ｋ１１、Ｋ１２、Ｋ１３、Ｋ１４、Ｋ２１、Ｋ２２、Ｋ２３、Ｋ２４、Ｋ３１、Ｋ３２、Ｋ３３、Ｋ３４、Ｋ４１、Ｋ４２、Ｋ４３、Ｋ４４）とを有し、該釣り針保持部が、枠状部内に設けられていることを特徴とする。
【０００８】
上記第１の構成の釣り用仕掛け収納ケースにおいては、仕掛けにおける釣り針を釣り針保持部に保持させて、仕掛けにおける釣糸を第２開口部に挿通してケース本体部内に案内する。すると、ケース本体部には、ガイド部が設けられ、さらに、第３内側壁は湾曲して形成されているので、釣糸をケース本体部における収納空間（内側壁の内側で、枠状部の外側の空間）内を円滑に案内することができる。
【０００９】
また、取付部は、透明部材その他の透光性を有する部材により形成されているので、釣

糸の様子を上面取付部の側から視認することができ、釣糸の様子を見ながら内側ケース５０内に収納していくことができ、釣糸を円滑に収納することができる。

【００１０】

なお、上記第１の構成において、内底面が、角部にアールが形成された長方形状の外周を有するものとしてもよい。

【００１１】

なお、上記第１の構成を以下のようにしてもよい。すなわち、「釣り用の仕掛けを収納するための釣り用仕掛け収納ケースであって、内側ケース（５０）と、内側ケースを収納する外側ケース（１０）とを有し、内側ケースが、内側ケース本体部（６０）と、透明部材その他の透光性を有する部材により形成された取付部（１５０）と、釣り針保持部（２００）とを有し、該内側ケース本体部が、角部にアールが形成された方形状の板状を呈する底面部（６２）と、底面部の外周端から上方に立設した側壁部で、互いに平行（略平行としてもよい）な一対の第１側壁部（６４ａ、６４ｃ）と、第１側壁部と直角な方向に形成された互いに平行（略平行としてもよい）な第２側壁部（６４ｂ、６４ｄ）と、第１側壁部と第２側壁部間に形成された湾曲部（６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈ）とを有し、外側の面に取付部の爪部と係合する爪部（６８）を有するする側壁部（６４）と、底面部の上面から上方に立設して形成され、側壁部と間隔を介して形成された複数の枠状部からなる枠状部群で、隣り合う枠状部が互いに間隔を介して形成されるとともに、複数の枠状部における各枠状部が、第１側壁部と平行（略平行としてもよい）な一対の第１板状部（８２、８６、１０２、１０６、１２２、１２６）と、該一対の板状部の両端を連結する一対の第２板状部（８４、８８、１０４、１０８、１２４、１２８）とにより枠状を呈し、第１側壁部と対向する枠状部以外の枠状部において、枠状部の内側に取付部の爪部と係合する爪部（１１２）が形成された枠状部群（８０、１００、１２０）と、複数の枠状部において隣り合う枠状部における互いに対向する第１板状部のいずれかから連設されたガイド部で、隣り合う枠状部間の空間に導かれた釣糸を第２側壁部に向けて第２側壁部に対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、第２側壁部に近づくほど第２側壁部との角度が小さくなるように湾曲した板状を呈し、その第２側壁部側の先端と該先端が対向する第２側壁部との間に間隔が設けられたガイド部（９０、９２、１３０、１３２）と、を有し、該取付部が、側壁部の内側の輪郭よりも大きい外周の輪郭を有する板状を呈し、互いに平行（略平行としてもよい）な第１辺部（１６０ａ、１６０ｃ）と第１辺部と直角を呈し互いに平行（略平行としてもよい）な第２辺部（１６０ｂ、１６０ｄ）とを有し、取付部を内側ケース本体部に取り付けた際に、第１辺部が第１側壁部に沿って位置し、第２辺部が第２側壁部に沿って位置するように形成された取付部本体部で、側壁部の枠状部の形成箇所に対応して形成された第１開口部（Ｋ１、Ｋ２、Ｋ３）と、隣り合う第１開口部間の領域と第１辺部に沿った領域とに形成された釣糸を挿通するための第２開口部（Ｋ１１、Ｋ１２、Ｋ１３、Ｋ１４、Ｋ２１、Ｋ２２、Ｋ２３、Ｋ２４、Ｋ３１、Ｋ３２、Ｋ３３、Ｋ３４、Ｋ４１、Ｋ４２、Ｋ４３、Ｋ４４）とを有する取付部本体部（上面取付部としてもよい）（１６０）と、取付部本体部から下方に突出して形成された爪部群で、側壁部に形成された爪部と係合する爪部と、枠状部に内側に形成された爪部と係合する爪部とからなる爪部群（１８０ａ～１８０ｊ）と、を有し、取付部の爪部を内側ケース本体の爪部に係合させて、取付部を内側ケース本体部に取り付けた場合に、取付部本体部が内側ケース本体部の上面に設けられ、該釣り針保持部が、枠状部内に設けられていることを特徴とする釣り用仕掛け収納ケース。」としてもよい。

【００１２】

また、上記第１の構成を以下の構成としてもよい。すなわち、「釣り用の仕掛けを収納するための釣り用仕掛け収納ケースであって、内側ケース（５０）と、内側ケースを収納する外側ケース（１０）とを有し、内側ケースが、内側ケース本体部（６０）と、透明部材その他の透光性を有する部材により形成された取付部（１５０）と、釣り針保持部（２００）とを有し、該内側ケース本体部が、角部にアールが形成された方形状の板状を呈する底面部（６２）と、底面部の外周端から上方に立設した側壁部で、互いに平行（略平行

としてもよい）な一対の第１側壁部（６４ａ、６４ｃ）と、第１側壁部と直角（略直角としてもよい）な方向に形成された互いに平行（略平行としてもよい）な第２側壁部（６４ｂ、６４ｄ）と、第１側壁部と第２側壁部間に形成された湾曲部（６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈ）とを有し、外側の面に取付部の爪部と係合する爪部（６８）を有する側壁部（６４）と、底面部の上面から上方に立設して形成され、側壁部と間隔を介して形成された３つの枠状部からなる枠状部群で、一方の第１側壁部に対向する枠状部である第１枠状部（８０）と、他方の第１側壁部に対向する枠状部である第２枠状部（１００）と、第１枠状部と第２枠状部の間に設けられた第３枠状部（１２０）を有し、隣り合う枠状部が互いに間隔を介して形成されるとともに、複数の枠状部における各枠状部が、第１側壁部と平行（略平行としてもよい）な一対の第１板状部（８２、８６、１０２、１０６、１２２、１２６）と、該一対の板状部の両端を連結する一対の第２板状部（８４、８８、１０４、１０８、１２４、１２８）とにより枠状を呈し、第３枠状部において、枠状部の内側に取付部の爪部と係合する爪部が形成された枠状部群と、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２側壁部側の端部領域から一方の第１側壁部側とは反対側に湾曲して形成された第１ガイド部（９０）と、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２側壁部側の端部領域から一方の第１側壁部側とは反対側に湾曲して形成された第２ガイド部（９２）と、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２側壁部側の端部領域から他方の第１側壁部側とは反対側に湾曲して形成された第３ガイド部（１３０）と、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２側壁部側の端部領域から他方の第１側壁部側とは反対側に湾曲して形成された第４ガイド部（１３２）とからなるガイド部群で、各ガイド部が、隣り合う枠状部間の空間に導かれた釣糸を第２側壁部に向けて第２側壁部に対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、第２側壁部に近づくほど第２側壁部との角度が小さくなるように湾曲した板状を呈し、その第２側壁部側の先端と該先端が対向する第２側壁部との間に間隔が設けられたガイド部群と、を有し、該取付部が、側壁部の内側の輪郭よりも大きい外周の輪郭を有する板状を呈し、互いに平行（略平行としてもよい）な第１辺部（１６０ａ、１６０ｃ）と第１辺部と直角（略直角としてもよい）を呈し互いに平行（略平行としてもよい）な第２辺部１６０ｂ、１６０ｄ）とを有し、取付部を内側ケース本体部に取り付けた際に、第１辺部が第１側壁部に沿って位置し、第２辺部が第２側壁部に沿って位置するように形成された取付部本体部で、側壁部の枠状部の形成箇所に対応して形成された第１開口部（Ｋ１、Ｋ２、Ｋ３）と、隣り合う第１開口部間の領域と第１辺部に沿った領域とに形成された釣糸を挿通するための第２開口部（Ｋ１１、Ｋ１２、Ｋ１３、Ｋ１４、Ｋ２１、Ｋ２２、Ｋ２３、Ｋ２４、Ｋ３１、Ｋ３２、Ｋ３３、Ｋ３４、Ｋ４１、Ｋ４２、Ｋ４３、Ｋ４４）とを有する取付部本体部（上面取付部としてもよい）（１６０）と、取付部本体部から下方に突出して形成された爪部群で、側壁部に形成された爪部と係合する爪部と、枠状部に内側に形成された爪部と係合する爪部とからなる爪部群（１８０ａ～１８０ｊ）と、を有し、取付部の爪部を内側ケース本体の爪部に係合させて、取付部を内側ケース本体部に取り付けた場合に、取付部本体部が内側ケース本体部の上面に設けられ、該釣り針保持部が、枠状部内に設けられていることを特徴とする。」としてもよい。

【００１３】

また、第２には、上記第１の構成において、一方の第１内側壁に対向する枠状部である第１枠状部（８０）と、他方の第１内側壁に対向する枠状部である第２枠状部（１００）と、第１枠状部と第２枠状部の間に設けられた第３枠状部（１２０）の３つの枠状部が設けられ、上記ガイド部が第１ガイド部（９０）と第２ガイド部（９２）と第３ガイド部（１３０）と第４ガイド部（１３２）の計４つ設けられ、第１ガイド部が、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２内側壁側の端部領域から一方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第２ガイド部が、第１枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２内側壁側の端部領域から一方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第３ガイド部が、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における一方の第２内側壁側の端部領域から他方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成され、第４ガイド

部が、第２枠状部の第３枠状部側の第１板状部における他方の第２内側壁側の端部領域から他方の第１内側壁側とは反対側に湾曲して形成されていることを特徴とする。

【００１４】

よって、ガイド部に案内された釣糸は、第２内側壁に沿って案内され、湾曲した第３内側壁に沿って案内され、さらに、第１内側壁に沿って案内されるので、釣糸が長い場合でも、円滑に釣糸を案内することができる。

【００１５】

また、第３には、上記第１又は第２の構成において、釣り針保持部が、釣り針を差し込んで保持可能な弾性部材により形成されていることを特徴とする。

【００１６】

また、第４には、上記第１から第３までのいずれかの構成において、釣り用仕掛け収納ケースが、内側ケース（５０）と、内側ケースを収納する外側ケース（１０）とを有し、上記ケース本体部（６０）と、上記上面取付部（１６０）と、上記釣り針保持部（２００）とが内側ケースに設けられ、上記ケース本体部が、角部にアールが形成された方形状の板状を呈し、上記内底面を有する底面部（６２）と、底面部の外周端から上方に立設した側壁部で、上記第１内側壁を内側に有する互いに平行（略平行としてもよい）な一対の第１側壁部（６４ａ、６４ｃ）と、第１側壁部と直角な方向に形成され、上記第２側壁を内側に有する互いに平行（略平行としてもよい）な第２側壁部（６４ｂ、６４ｄ）と、第１側壁部と第２側壁部間に形成され上記第３内側壁を内側に有する湾曲部（６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈ）とを有し、外側の面に取付部の爪部と係合する爪部（６８）を有する側壁部（６４）と、を有し、上記上面取付部には、上面取付部の下方に突出して形成された爪部群で、側壁部に形成された爪部と係合する爪部と、枠状部に内側に形成された爪部と係合する爪部とからなる爪部群（１８０ａ～１８０ｊ）が形成され、上面取付部の爪部をケース本体部の爪部に係合させて、上面取付部をケース本体部に取り付けた場合に、上面取付部がケース本体部の上面に設けられることを特徴とする。

【００１７】

よって、ケース本体部において、取付部に設けられた爪部と係合する爪部は、側壁部の外側の面と第１側壁部と対向する枠状部以外の枠状部の内側に設けられていて、内側ケースの内側ケース本体部における収納空間（側壁部の内側で、枠状部の外側の空間）内には設けられていないので、釣糸を案内する際に、釣糸が爪部に接触して案内の支障となるおそれがない。また、外側ケースと、内側ケースとに分かれているので、内側ケースの構成を変えることにより、外側ケースを他の用途にも使用することができる。

【００１８】

なお、上記底面部が、角部にアールが形成された長方形状の板状を呈するものとしてもよい。

【００１９】

また、第５には、上記第４の構成において、外側ケースが、内側ケースを収納する外側ケース本体部（２０）と、外側ケース本体部に対して回動する蓋部（３０）とを有し、ケース本体部の側壁部の湾曲部の側面に第１突状部（６４－１、６４－２、６４－３、６４－４）が形成され、外側ケース本体部の内側の側面に、第１突状部に係止する第２突状部（２１）が形成され、内側ケースが外側ケース本体部に収納された状態では、第２突状部が第１突状部の上面に係止することを特徴とする。

【００２０】

なお、第５の構成において、蓋部が、透明部材その他の透光性を有する部材により形成されていることを特徴とするものとしてもよい。

【００２１】

また、第６の構成として、以下の構成としてもよい。すなわち、上記第５の構成において、外側ケース部本体部が、底面部と底面部の周囲から連設された側壁部とを有し、蓋部が、上面部と上面部の周囲から連設された側壁部とを有し、外側ケース部本体部に対してヒンジ部を中心に回動し、底面部と上面部とが、略長方形状の板状を呈し、ヒンジ部は、

底面部の短辺から連設された側壁部と上面部の短辺から連設された側壁部に設けられていることを特徴とするものとしてもよい。

【００２２】

また、第７の構成として、以下の構成としてもよい。すなわち、上記第１から第６までのいずれかの構成において、釣り針保持部には、釣り針を差し込むための切込みが形成されていることを特徴とするものとしてもよい。

【発明の効果】

【００２３】

本発明に基づく釣り用仕掛け収納ケースによれば、仕掛けにおける釣り針を釣り針保持部に保持させて、仕掛けにおける釣糸を第２開口部に挿通して内側ケース内に案内すると、内側ケース本体部には、ガイド部が設けられ、さらに、側壁部に湾曲部が設けられているので、釣糸を内側ケースの内側ケース本体部における収納空間（側壁部の内側で、枠状部の外側の空間）内を円滑に案内することができる。

【００２４】

また、内側ケース本体部において、取付部に設けられた爪部と係合する爪部は、側壁部の外側の面と第１側壁部と対向する枠状部以外の枠状部の内側に設けられていて、内側ケースの内側ケース本体部における収納空間（側壁部の内側で、枠状部の外側の空間）内には設けられていないので、釣糸を案内する際に、釣糸が爪部に接触して案内の支障となるおそれがない。

【００２５】

また、取付部は、透明部材その他の透光性を有する部材により形成されているので、釣糸の様子を上面取付部の側から視認することができる。

【図面の簡単な説明】

【００２６】

【図１】釣り用仕掛け収納ケースの斜視図である。

【図２】釣り用仕掛け収納ケースの蓋部を開いた状態の斜視図である。

【図３】外側ケースの蓋部を開いた状態の斜視図である。

【図４】内側ケースの分解斜視図である。

【図５】上側取付部の底面側から見た斜視図である。

【図６】内側ケースの本体部の平面図である。

【図７】内側ケースの本体部の底面図である。

【図８】釣り用仕掛け収納ケースの使用状態図である。

【発明を実施するための形態】

【００２７】

本発明においては、釣針保持部と釣糸収納部とを有する釣り用仕掛け収納ケースにおいて、仕掛けにおけるハリスが長い場合でもハリスを円滑に収納することができる釣り用仕掛け収納ケースを提供するという目的を以下のようにして実現した。

【００２８】

本実施例の釣り用仕掛け収納ケース５は、図１～図７に示すように構成され、外側ケース１０と、外側ケース１０に取り付けられる内側ケース５０と、内側ケース５０に収納されるマット２００（釣り針保持部）とを有している。

【００２９】

外側ケース１０は、図１～図３に示すように構成され、本体部２０と、本体部２０に対して回動して開閉する蓋部３０とを有している。本体部２０と蓋部３０とは、それぞれ、合成樹脂により一体に形成されている。

【００３０】

本体部２０は、容器状の容器状部２２と、容器状部２２の長手方向の端部に容器状部２２に対して回動可能に形成された係止部２４と、容器状部２２の係止部２４が形成された側の端部とは反対側の端部に構成されたヒンジ構成部２６とを有している。

【００３１】

容器状部２２は、容器状を呈し、略長方形状の板状の底面部２２ａと、底面部２２ａの周囲から立設した側壁部２２ｂ～２２ｅとを有している。側壁部２２ｂ、２２ｄは底面部２２ａの長辺から立設し、側壁部２２ｃ、２２ｅは底面部２２ａの短辺から立設して形成されている。なお、側壁部２２ｂ～２２ｅは、内周側の部分と該内周側の部分と隣接する外周側の部分とを有し、内周側の部分が外周側の部分よりも幅広に形成され上方に高く形成されている（つまり、底面部２２ａ側とは反対側に高く形成されている）。

【００３２】

係止部２４は、側壁部２２ｃ（具体的には、側壁部２２ｃの外周側の部分）に回動可能に形成され、蓋部３０に設けられた突状部３４が挿通する開口部２４ａを有し、係止部２４を回動させて突状部３４を開口部２４ａに挿通させることにより係止部２４が突状部３４に係止する。

【００３３】

ヒンジ構成部２６は、側壁部２２ｅ（具体的には、側壁部２２ｅの外周側の部分）の上面に突設され、間隔を介して形成された一対の略円筒状の部材により形成されている。

【００３４】

また、側壁部２２ｄの内周側の部分の内側には、一対の突状部（第２突状部）２１が側方に突出して形成され、突状部２１は、底面部２２ａの平面状の内底面と略平行の略棒状（具体的には、断面三角形状の棒状）に形成されている。また、側壁部２２ｂの内周側の部分の内側には、突状部２１と同様の構成の突状部が側方に突出して形成されている。これらの突状部は、内側ケース５０を外側ケース１０内に設置した際に内側ケース５０の本体部６０の突状部６４－１、６４－２、６４－３、６４－４と係合して突状部６４－１、６４－２、６４－３、６４－４の上面と接する。

【００３５】

また、蓋部３０は、容器状の容器状部３２と、容器状部３２の長手方向の端部に形成された突状部３４と、容器状部３２の突状部３４が形成された側の端部とは反対側の端部に構成されたヒンジ構成部３６とを有している。

【００３６】

容器状部３２は、容器状を呈し、略長方形状の板状の上面部３２ａと、上面部３２ａの周囲から立設した側壁部３２ｂ～３２ｅとを有している。側壁部３２ｂ、３２ｄは上面部３２ａの長辺から立設し、側壁部３２ｃ、３２ｅは上面部３２ａの短辺から立設して形成されている。なお、側壁部３２ｂ～３２ｅは、内周側の部分と該内周側の部分と隣接する外周側の部分とを有し、外周側の部分が内周側の部分よりも幅広に形成され、蓋部３０を本体部２０に対して閉じた際に、容器状部３２の外周側の部分における内周側の部分から突出した部分が、容器状部２２の内周側の部分における外周側の部分から突出した部分の外側に位置する。

【００３７】

突状部３４は、側壁部３２ｃから外側に突出して形成され、略平板状に形成されている。

【００３８】

また、ヒンジ構成部３６は、側壁部３２ｅの外側の面に突設され、略円筒状の部材により形成され、一対のヒンジ構成部２６間の長さと略同一に形成され、ヒンジ構成部３６を一対のヒンジ構成部２６間に配置し、棒状の挿通部材４０を挿通することによりヒンジが構成される。

【００３９】

なお、蓋部３０は、透明部材により形成されており、蓋部３０を本体部２０に対して閉じた状態でも、蓋部３０を介して、仕掛けの釣針を視認でき、また、取付部１５０も透明部材、半透明部材等の透光性を有する部材により構成されているので、蓋部３０と取付部１５０とを介して内側ケース５０の本体部６０内に案内された釣糸を視認することができる。なお、図１では、蓋部３０は不透明部材のように描かれているが、実際には、透明部材により形成され、内部を視認できるようになっている。なお、蓋部３０は、透明部材で

なくても、半透明部材等透光性を有する部材としてもよい。

【００４０】

また、内側ケース５０は、本体部（内側ケース本体部）６０と、本体部６０の上面に取り付ける取付部１５０と、本体部６０に保持されたマット２００とを有している。本体部６０と取付部１５０とは、それぞれ、合成樹脂により一体に形成されている。

【００４１】

本体部６０は、釣り用の仕掛けにおける釣り針（具体的には、イカリ針）を保持するためのマット２００を保持するとともに、仕掛けにおける釣糸（具体的には、ハリス）を案内して配置するための空間を有するものであり、底面部６２と、底面部６２の縁部から立設した側壁部６４と、底面部６２の内底面から立設した枠状部８０、１００、１２０と、枠状部８０から連設されたガイド部９０、９２と、枠状部１２０から連設されたガイド部１３０、１３２とを有している。なお、本体部６０は、長辺方向に対称に形成され（つまり、短辺方向の仮想の平面を介して対称に形成されている）、また、短辺方向に対称に形成されている（つまり、長辺方向の仮想の平面を介して対称に形成されている）。枠状部８０と枠状部１００と枠状部１２０とで、枠状部群を形成する。

【００４２】

ここで、底面部６２は、長方形状の４つの角部にアールを設けた形状の平板状を呈している。なお、底面部６２の一対の長辺における一方の略中央位置には、略方形状の切欠部６２ａが形成され、他方の略中央位置には、略方形状の切欠部６２ｂが形成されている。また、底面部６２には、３つの開口部６２ｃ、６２ｄ、６２ｅが形成され、枠状部８０の内周の形状に形成された開口部６２ｃと、枠状部１００の内周の形状に形成された開口部６２ｄと、枠状部１２０の内周の形状に形成された開口部６２ｅとが形成されている。なお、底面部６２の上面（内底面）が内底面６２－Ｎとなる。

【００４３】

また、側壁部６４は、底面部６２の外周の縁部から立設して形成され、略板状に上下方向に略同一幅（同一幅としてもよい）に形成されている。側壁部６４は、底面部６２の一方の長辺から立設した長辺部６４ａ（第１側壁部）と、底面部６２の一方の短辺から立設した短辺部６４ｂ（第２側壁部）と、底面部６２の他方の長辺から立設した長辺部６４ｃ（第１側壁部）と、底面部６２の他方の短辺から立設した短辺部６４ｄ（第２側壁部）と、長辺部６４ａと短辺部６４ｂ間の湾曲部６４ｅと、短辺部６４ｂと長辺部６４ｃ間の湾曲部６４ｆと、長辺部６４ｃと短辺部６４ｄ間の湾曲部６４ｇと、短辺部６４ｄと長辺部６４ａ間の湾曲部６４ｈとを有している。長辺部６４ａと長辺部６４ｃとは互いに平行（略平行としてもよい）に形成され、短辺部６４ｂと短辺部６４ｄとは互いに平行（略平行としてもよい）に形成され、長辺部６４ａ、６４ｃと短辺部６４ｂ、６４ｄとは直角（略直角としてもよい）をなしている。

【００４４】

長辺部６４ａの中央領域には、凹部７０ａが形成され、また、長辺部６４ｃの中央領域には、凹部７０ｂが形成されている。つまり、凹部７０ａの外側には、略方形状の切欠部が形成され、凹部７０ａの内側の面６４ａ－１は、円弧状に湾曲した膨出面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈し、長辺部６４ａにおける内側の面の平面状の部分よりも突出している。同様に、凹部７０ｂの外側には、略方形状の切欠部が形成され、凹部７０ｂの内側の面６４ｃ－１は、円弧状に湾曲した膨出面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈し、長辺部６４ｃにおける内側の面の平面状の部分よりも突出している。

【００４５】

湾曲部６４ｅの長辺部６４ａ側の端部領域には、突状部（第１突状部）６４－１が形成され、湾曲部６４ｆの長辺部６４ｃ側の端部領域には、突状部（第１突状部）６４－２が形成され、湾曲部６４ｇの長辺部６４ｃ側の端部領域には、突状部（第１突状部）６４－３が形成され、湾曲部６４ｈの長辺部６４ａ側の端部領域には、突状部（第１突状部）６４－４が形成されている。

【００４６】

突状部６４－１は、湾曲部６４ｅの外側の側面の上端から側方の外側に突出して形成され、その長辺側の端面は、長辺部６４ａの外側の側面と面一に形成されている。突状部６４－４は、突状部６４－１と対称（面対称）に形成され、湾曲部６４ｈの外側の側面の上端から側方の外側に突出して形成され、その長辺側の端面は、長辺部６４ａの外側の側面と面一に形成されている。突状部６４－２は、湾曲部６４ｆの外側の側面の上端から側方の外側に突出して形成され、その長辺側の端面は、長辺部６４ｃの外側の側面と面一に形成されている。突状部６４－３は、突状部６４－２と対称（面対称）に形成され、湾曲部６４ｇの外側の側面の上端から側方の外側に突出して形成され、その長辺側の端面は、長辺部６４ｃの外側の側面と面一に形成されている。これにより、突状部６４－２、６４－３が、容器状部２２の側壁部２２ｄの内側から突出した突状部２１に係止し、突状部６４－１、６４－４が、容器状部２２の側面部２２ｂの内側から突出した突状部に係止する。

【００４７】

また、湾曲部６４ｅの外側の側面からは係合部６５ａが形成され、係合部６５ａは、縦方向に間隔を介して形成された一対の突状部６６ａと、一対の突状部６６ａ間に形成され、爪部１８０ａが係合するための爪部６８とを有している。湾曲部６４ｆの外側の側面からは係合部６５ｂが形成され、係合部６５ｂは、縦方向に間隔を介して形成された一対の突状部６６ｂと、一対の突状部６６ｂ間に形成され、爪部１８０ｃが係合するための爪部（爪部６８と同様の構成の爪部）とを有している。湾曲部６４ｇの外側の側面からは係合部６５ｃが形成され、係合部６５ｃは、縦方向に間隔を介して形成された一対の突状部６６ｃと、一対の突状部６６ｃ間に形成され、爪部１８０ｆが係合するための爪部（爪部６８と同様の構成の爪部）とを有している。湾曲部６４ｈの外側の側面からは係合部６５ｄが形成され、係合部６５ｄは、縦方向に間隔を介して形成された一対の突状部６６ｄと、一対の突状部６６ｄ間に形成され、爪部１８０ｄが係合するためた爪部（爪部６８と同様の構成の爪部）とを有している。

【００４８】

また、凹部７０ａには、爪部１８０ｇと係合する爪部７２が形成され、凹部７０ｂには、爪部（爪部１８０ｇと対称位置にある爪部）と係合する爪部（爪部７２と同様の構成の爪部）が形成されている。

【００４９】

なお、側壁部６４の内側の側面が、内側壁６４－Ｎとなり、長辺部６４ａ、６４ｃの内側の側面が、内側壁（第１内側壁）６４ａ－Ｎ、６４ｃ－Ｎとなり、短辺部６４ｂ、６４ｄの内側の側面が、内側壁（第２内側壁）６４ｂ－Ｎ、６４ｄ－Ｎとなり、湾曲部６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈの内側の側面が、内側壁（第３内側壁）６４ｅ－Ｎ、６４ｆ－Ｎ、６４ｇ－Ｎ、６４ｈ－Ｎとなる。内側壁６４ａ－Ｎと内側壁６４ｃ－Ｎとは、互いに平行（略平行としてもよい）で、内側壁６４ｂ－Ｎと内側壁６４ｄ－Ｎとは、互いに平行（略平行としてもよい）となっている。

【００５０】

また、３つの枠状部８０、１００、１２０は、互いに平行（略平行としてもよい）に形成され、隣り合う枠状部（枠状部８０と枠状部１００、枠状部１００と枠状部１２０）は互いに間隔を介して形成されている。また、３つの枠状部８０、１００、１２０は、側壁部６４と間隔を介して形成されている。つまり、３つの枠状部８０、１００、１２０は、いずれも側壁部６４と接していない。

枠状部８０は、長辺部６４ａと間隔を介して長辺部６４ａに沿って長辺部６４ａと対向して形成され、四角形状の枠状に形成されている。枠状部８０は、短辺部８８から連設された板状の長辺部８２（第１板状部）と、長辺部８２の長手方向の一方の端部から連設された板状の短辺部８４（第２板状部）と、短辺部８４の長辺部８２が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の長辺部８６（第１板状部）と、長辺部８６の短辺部８４が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の短辺部８８（第２板状部）とを有している。長辺部８２、８６は、長辺部６４ａ、６４ｃと平行（略平行としてもよい）に形成され、短辺部８４、８８は、短辺部６４ｂ、６４ｄと平行（略平行としてもよい）に形

成されている。枠状部８０の内側の空間には、マット２００が嵌合される。
【００５１】
なお、枠状部８０は、湾曲部６４ｅ、６４ｈや短辺部６４ｂ、６４ｄと間隔を介して形成されている。
【００５２】
また、枠状部１００は、枠状部８０及び枠状部１２０と間隔を介して枠状部８０及び枠状部１２０に沿って形成され、略四角形状の枠状に形成されている。枠状部１００は、短辺部１０８から連設された板状の長辺部１０２（第１板状部）と、長辺部１０２の長手方向の一方の端部から連設された板状の短辺部１０４（第２板状部）と、短辺部１０４の長辺部１０２が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の長辺部１０６（第１板状部）と、長辺部１０６の短辺部１０４が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の短辺部１０８（第２板状部）とを有している。長辺部１０２、１０６は、長辺部６４ａ、６４ｃと平行（略平行としてもよい）に形成され、短辺部１０４、１０８は、短辺部６４ｂ、６４ｄと平行（略平行としてもよい）に形成されている。枠状部１００の内側の空間には、マット２００が嵌合される。なお、枠状部１００は、短辺部６４ｂ、６４ｄと間隔を介して形成されている。
【００５３】
長辺部１０２の内側（枠状部１００における内側）の中央領域には、凹部１１０ａが形成されている。凹部１１０ａの内側（枠状部１００における内側）には、略方形状の切欠部が形成され、凹部１１０ａの外側の面１０２ａは、円弧状に湾曲した膨出面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈し、長辺部１０２における外側（枠状部１００における外側）の面の平面状の部分よりも突出している。凹部１１０ａには、爪部１８０ｈと係合する爪部（爪部１１２と同様の構成の爪部）が形成されている。
【００５４】
また、短辺部１０４の内側（枠状部１００における内側）の中央領域には、凹部１１０ｂが形成されている。凹部１１０ｂの内側（枠状部１００における内側）には、略方形状の切欠部が形成されている。また、短辺部１０４の外側の面は、円弧状に湾曲した面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈している。凹部１１０ｂには、爪部１８０ｂと係合する爪部（爪部１１２と同様の構成の爪部）が形成されている。
【００５５】
長辺部１０６の内側（枠状部１００における内側）の中央領域には、凹部１１０ｃが形成されている。凹部１１０ｃの内側（枠状部１００における内側）には、略方形状の切欠部が形成され、凹部１１０ｃの外側の面１０６ａは、円弧状に湾曲した膨出面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈し、長辺部１０６における外側（枠状部１００における外側）の面の平面状の部分よりも突出している。凹部１１０ｃには、爪部１８０ｉと係合する爪部１１２が形成されている。
【００５６】
また、短辺部１０８の内側（枠状部１００における内側）の中央領域には、凹部１１０ｄが形成されている。凹部１１０ｄの内側（枠状部１００における内側）には、略方形状の切欠部が形成されている。また、短辺部１０８の外側の面は、円弧状に湾曲した面（つまり、横断面が円弧状をなす面）を呈している。凹部１１０ｄには、爪部１８０ｅと係合する爪部１１２が形成されている。
【００５７】
また、枠状部１２０は、枠状部８０と対称に形成されている。つまり、枠状部１２０は、長辺部６４ｃと間隔を介して長辺部６４ｃに沿って長辺部６４ｃと対向して形成され、四角形状の枠状に形成されている。枠状部１２０は、短辺部１２８から連設された板状の長辺部１２２（第１板状部）と、長辺部１２２の長手方向の一方の端部から連設された板状の短辺部１２４（第２板状部）と、短辺部１２４の長辺部１２２が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の長辺部１２６（第１板状部）と、長辺部１２６の短辺部１２４が連設された側とは反対側の端部から連設された板状の短辺部１２８（第２板状部

）とを有している。長辺部１２２、１２６は、長辺部６４ａ、６４ｃと平行（略平行としてもよい）に形成され、短辺部１２４、１２８は、短辺部６４ｂ、６４ｄと平行（略平行としてもよい）に形成されている。枠状部１２０の内側の空間には、マット２００が嵌合される。

【００５８】

なお、枠状部１２０は、湾曲部６４ｆ、６４ｇや短辺部６４ｂ、６４ｄと間隔を介して形成されている。

【００５９】

枠状部８０と枠状部１００と枠状部１２０とにおける内側の空間の長手方向の長さ（枠状部１００においては凹部１１０ｂ、１１０ｄを除く部分の長さ（短辺部１０４の内側の面と短辺部１０８の内側の面の間の長さ））は略同一に形成され、枠状部８０と枠状部１００と枠状部１２０とにおける内側の空間の短手方向の長さ（枠状部１００においては凹部１１０ａ、１１０ｃを除く部分の長さ（長辺部１０２の内側の面と長辺部１０６の内側の面の間の長さ））は略同一に形成されている。

【００６０】

また、ガイド部９０（第１ガイド部）は、枠状部８０の長辺部８６の一方の端部側の領域から連設され、枠状部１００側に略円弧状に湾曲した板状を呈している。また、ガイド部９２（第２ガイド部）は、枠状部８０の長辺部８６の他方の端部側の領域から連設され、枠状部１００側に略円弧状に湾曲した板状を呈している。ガイド部１３０（第３ガイド部）は、枠状部１２０の長辺部１２６の一方の端部側の領域から連設され、枠状部１００側に略円弧状に湾曲した板状を呈している。また、ガイド部１３２（第４ガイド部）は、枠状部１２０の長辺部１２６の他方の端部側の領域から連設され、枠状部１００側に略円弧状に湾曲した板状を呈している。

【００６１】

ガイド部９０は、枠状部８０と枠状部１００間の空間に導かれた釣糸を短辺部６４ｂに向けて短辺部６４ｂに対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、短辺部６４ｂに近づくほど短辺部６４ｂとの角度（鋭角の角度）が小さくなるように湾曲した板状を呈し、ガイド部９０の短辺部６４ｂ側の先端と該先端が対向する短辺部６４ｂとの間に間隔が設けられている。

【００６２】

ガイド部９２は、枠状部８０と枠状部１００間の空間に導かれた釣糸を短辺部６４ｄに向けて短辺部６４ｄに対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、短辺部６４ｄに近づくほど短辺部６４ｄとの角度（鋭角の角度）が小さくなるように湾曲した板状を呈し、ガイド部９２の短辺部６４ｄ側の先端と該先端が対向する短辺部６４ｄとの間に間隔が設けられている。

【００６３】

ガイド部１３０は、枠状部１００と枠状部１２０間の空間に導かれた釣糸を短辺部６４ｂに向けて短辺部６４ｂに対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、短辺部６４ｂに近づくほど短辺部６４ｂとの角度（鋭角の角度）が小さくなるように湾曲した板状を呈し、ガイド部１３０の短辺部６４ｂ側の先端と該先端が対向する短辺部６４ｂとの間に間隔が設けられている。

【００６４】

ガイド部１３２は、枠状部１００と枠状部１２０間の空間に導かれた釣糸を短辺部６４ｄに向けて短辺部６４ｄに対して鋭角に傾斜した角度で案内するために、短辺部６４ｄに近づくほど短辺部６４ｄとの角度（鋭角の角度）が小さくなるように湾曲した板状を呈し、ガイド部１３２の短辺部６４ｄ側の先端と該先端が対向する短辺部６４ｄとの間に間隔が設けられている。

【００６５】

ガイド部９０と短辺部６４ｂ間の間隔とガイド部１３０と短辺部６４ｂ間の間隔は同一に形成されている。また、ガイド部９２と短辺部６４ｄ間の間隔とガイド部１３２と短辺

部６４ｄｂ間の間隔は同一に形成されている。
【００６６】
なお、枠状部８０、１００、１２０の上端の高さと、ガイド部９０、９２、１３０、１３２の上端の高さは、側壁部６４の上端の高さと同一に形成されている。
【００６７】
次に、取付部１５０は、略平板状の上面取付部（取付部本体部としてもよい）１６０と、上面取付部１６０の底面から下方に突出して形成された複数（具体的には、１０個）の爪部１８０ａ～１８０ｊとを有している。
【００６８】
ここで、上面取付部１６０は、略長方形状の外形を呈した略平板状を呈し、本体部６０の平面視の外形と略同一の外形に形成され、少なくとも、側壁部６４の内側の輪郭（つまり、本体部６０の内側壁６４－Ｎ）よりも大きい外周の輪郭を有している。つまり、上面取付部１６０は、互いに平行（略平行としてもよい）な長辺１６０ａ、１６０ｃ（第１辺部）と互いに平行（略平行としてもよい）な短辺１６０ｂ、１６０ｄ（第２辺部）とを有している。取付部１５０を本体部６０に取り付けた際に、長辺１６０ａは、長辺部６４ａに沿って位置し、長辺１６０ｃは、長辺部６４ｃに沿って位置し、短辺１６０ｂは、短辺部６４ｂに沿って位置し、短辺１６０ｄは、短辺部６４ｄに沿って位置する。長辺１６０ａ、１６０ｃと短辺１６０ｂ、１６０ｄとは、互いに直角（略直角としてもよい）をなしている。
【００６９】
より具体的には、上面取付部１６０は、複数（具体的には、３つ）の細長長方形状の開口部Ｋ１～Ｋ３（第１開口部）を有していて、これにより、間隔を介して互いに平行に設けられた２つの短辺方向構成部１６２、１６４の間に４つの長辺方向構成部１６６、１６８、１７０、１７２が間隔を介して互いに平行に設けられていて、取付部１５０を本体部６０に装着した場合に、長辺方向構成部１６６の外側の側面（長辺方向構成部１６８側とは反対側の側面）が長辺部６４ａの外側の側面と面一となり、長辺方向構成部１７２の外側の側面（長辺方向構成部１７０側とは反対側の側面）が長辺部６４ｃの外側の側面と面一となり、短辺方向構成部１６２の外側の側面（短辺方向構成部１６４側とは反対側の側面）が短辺部６４ｂの外側の側面と面一となり、短辺方向構成部１６４の外側の側面（短辺方向構成部１６２側とは反対側の側面）が短辺部６４ｄの外側の側面と面一となっている。
【００７０】
また、長辺方向構成部１６６の長手方向の端部領域の外側には、切欠部Ｋ５１、Ｋ５２が形成され、内側ケース５０を外側ケース１０に取り付けた状態において、本体部２０の側壁部２２ｂの内側に設けられた突状部（突状部２１と同様の構成の突状部）が、該切欠部Ｋ５１、Ｋ５２の位置に配置される。同様に、長辺方向構成部１７２の長手方向の端部領域の外側には、切欠部Ｋ５３、Ｋ５４が形成され、内側ケース５０を外側ケース１０に取り付けた状態において、本体部２０の側壁部２２ｄの内側に設けられた突状部２１が、該切欠部Ｋ５３、Ｋ５４の位置に配置される。
【００７１】
また、上面取付部１６０の底面側の外周端の領域は段状に形成されていて、外側の領域１５０－１が内側の領域１５０－２よりも薄く形成され、該内側の領域１５０－２の外周の輪郭は、本体部６０の側壁部６４の内側の輪郭に合わせて形成されている。これにより、取付部１５０を本体部６０に取り付けた際に、内側の領域１５０－２が側壁部６４に嵌合して、側壁部６４の上面が外側の領域１５０－１の底面に接する。
【００７２】
また、開口部Ｋ１は、枠状部８０の形成箇所に対応して形成され、枠状部８０の形状・大きさに対応して形成され、上面取付部１６０の厚み方向の途中位置で段状に形成されて、上面側部分と底面側部分とに形成され、上面側部分が底面側部分よりも小さく形成され、上面側部分が枠状部８０の内側の面の上端の輪郭に合わせて形成され、開口部Ｋ１の上

面側部分の側面が、長辺部８２の内側の面と、短辺部８４の内側の面と、長辺部８６の内側の面と、短辺部８８の内側の面と面一になるように形成されている。また、開口部Ｋ１の底面側部分が枠状部８０の外側の面の上端の輪郭に合わせて形成されている。これにより、取付部１５０を本体部６０に取り付けた状態においては、枠状部８０の上端が、開口部Ｋ１の底面側部分に挿通し、枠状部８０の上面が開口部Ｋ１の上面側部分の周縁部１５０－１０の底面に接する。

【００７３】

また、開口部Ｋ２は、枠状部１００の形成箇所に対応して形成され、枠状部１００の形状・大きさに対応して形成され、上面取付部１６０の厚み方向の途中位置で段状に形成されて、上面側部分と底面側部分とに形成され、上面側部分が底面側部分よりも小さく形成され、上面側部分が枠状部１００の内側の面の上端の輪郭に合わせて形成されている（ただし、凹部１１０ａ、１１０ｂ、１１０ｃ、１１０ｄの部分は除く）。つまり、開口部Ｋ２の上面側部分の側面が、長辺部１０２の内側の面で凹部１１０ａを除く内側の面と、短辺部１０４の内側の面で凹部１１０ｂを除く内側の面と、長辺部１０６の内側の面で凹部１１０ｃを除く内側の面と、短辺部１０８の内側の面で凹部１１０ｄを除く内側の面と面一になるように形成されている。また、開口部Ｋ２の底面側部分が枠状部１００の外側の面の上端に合わせて形成されている。これにより、取付部１５０を本体部６０に取り付けた状態においては、枠状部１００の上端が、開口部Ｋ２の底面側部分に挿通し、枠状部１００の上面が開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２の底面に接する。

【００７４】

また、開口部Ｋ３は、枠状部１２０の形成箇所に対応して形成され、枠状部１２０の形状・大きさに対応して形成され、上面取付部１６０の厚み方向の途中位置で段状に形成されて、上面側部分と底面側部分とに形成され、上面側部分が底面側部分よりも小さく形成され、上面側部分が枠状部１２０の内側の面の上端の輪郭に合わせて形成され、開口部Ｋ３の上面側部分の側面が、長辺部１２２の内側の面と、短辺部１２４の内側の面と、長辺部１２６の内側の面と、短辺部１２８の内側の面と面一になるように形成されている。また、開口部Ｋ３の底面側部分が枠状部１２０の外側の面の上端の輪郭に合わせて形成されている。これにより、取付部１５０を本体部６０に取り付けた状態においては、枠状部１２０の上端が、開口部Ｋ３の底面側部分に挿通し、枠状部１２０の上面が開口部Ｋ３の上面側部分の周縁部１５０－１４の底面に接する。

【００７５】

また、開口部Ｋ１の開口部Ｋ２側の長手方向の端部付近からは、ガイド部９０が嵌合するための溝部１５０ａとガイド部９２が嵌合するための溝部１５０ｂが形成されている。溝部１５０ａはガイド部９０の形状に合わせて略円弧状に湾曲して形成され、溝部１５０ｂはガイド部９２の形状に合わせて略円弧状に湾曲して形成されている。同様に、開口部Ｋ３の開口部Ｋ２側の長手方向の端部付近からは、ガイド部１３０が嵌合するための溝部１５０ｃとガイド部１３２が嵌合するための溝部１５０ｄが形成されている。溝部１５０ｃはガイド部１３０の形状に合わせて略円弧状に湾曲して形成され、溝部１５０ｄはガイド部１３２の形状に合わせて略円弧状に湾曲して形成されている。

【００７６】

また、長辺方向構成部１６６、つまり、長辺１６０ａに沿った領域には、釣糸を挿通するための複数の細長形状の開口部が形成され、開口部Ｋ１１と開口部Ｋ１２と開口部Ｋ１３と開口部Ｋ１４とが間隔を介して一列に配設されている。また、長辺方向構成部１６８、つまり、開口部Ｋ１と開口部Ｋ２間の領域には、釣糸を挿通するための複数の細長形状の開口部が形成され、開口部Ｋ２１と開口部Ｋ２２と開口部Ｋ２３と開口部Ｋ２４とが間隔を介して一列に配設されている。また、長辺部１７０、つまり、開口部Ｋ２と開口部Ｋ３間の領域には、釣糸を挿通するための複数の細長形状の開口部が形成され、開口部Ｋ３１と開口部Ｋ３２と開口部Ｋ３３と開口部Ｋ３４とが間隔を介して一列に配設されている。また、長辺方向構成部１７２、つまり、長辺１６０ｃに沿った領域には、釣糸を挿通するための複数の細長形状の開口部が形成され、開口部Ｋ４１と開口部Ｋ４２と開口部Ｋ４

３と開口部Ｋ４４とが間隔を介して一列に配設されている。
【００７７】
また、短辺方向構成部１６２と短辺方向構成部１６４には、複数の円形の開口部が形成されている。これらの開口部は、内側ケース５０の内部を乾燥するために設けられている。
【００７８】
また、上面取付部１６０における爪部１８０ａ～１８０ｊの突出部に対応する位置には、爪部１８０ａ～１８０ｊを形成するために成形型の構造上の都合から細長の穴部が形成されている。
【００７９】
また、爪部１８０ａ～１８０ｊは、上面取付部１６０の底面から下方に突出して形成されている。爪部１８０ａ～１８０ｊにより、爪部群が構成される。
【００８０】
爪部１８０ａは、短辺方向構成部１６２の長辺方向構成部１６６側の端部領域（具体的には、外周領域１５０－１）に形成され、係合部６５ａの爪部６８と係合する。爪部１８０ｂは、短辺方向構成部１６２の長手方向の中央領域（具体的には、開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２）に形成され、凹部１１０ｂの爪部と係合する。爪部１８０ｃは、短辺方向構成部１６２の長辺方向構成部１７２側の端部領域（具体的には、外周領域１５０－１）に形成され、係合部６５ｂの爪部と係合する。爪部１８０ｄは、短辺方向構成部１６４の長辺方向構成部１６６側の端部領域（具体的には、外周領域１５０－１）に形成され、係合部６５ｄの爪部と係合する。爪部１８０ｅは、短辺方向構成部１６４の長手方向の中央領域（具体的には、開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２）に形成され、凹部１１０ｄの爪部と係合する。爪部１８０ｆは、短辺方向構成部１６４の長辺方向構成部１７２側の端部領域（具体的には、外周領域１５０－１）に形成され、係合部６５ｃの爪部と係合する。爪部１８０ｇは、長辺方向構成部１６６の長手方向の中央領域の長辺方向構成部１６８側とは反対側の端部領域（外周領域１５０－１）に形成され、凹部７０ａの爪部７２と係合する。爪部１８０ｈは、長辺方向構成部１６６の長手方向の中央領域の長辺方向構成部１６６側とは反対側の端部領域（開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２）に形成され、凹部１１０ａの爪部と係合する。爪部１８０ｉは、長辺方向構成部１７０の長手方向の中央領域の長辺方向構成部１７２側とは反対側の端部領域（開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２）に形成され、凹部１１０ｃの爪部１１２と係合する。爪部１８０ｊは、長辺方向構成部１７２の長手方向の中央領域の長辺方向構成部１７０側とは反対側の端部領域（外周領域１５０－１）に形成され、凹部７０ｂの爪部と係合する。
【００８１】
なお、爪部１８０ｇの外側の面（長辺方向構成部１６８側とは反対側の面）は、長辺方向構成部１６６の外側の側面（長辺方向構成部１６８側とは反対側の側面）と面一に形成され、爪部１８０ｈの開口部Ｋ２側の面（長辺方向構成部１６６側とは反対側の面）は、開口部Ｋ２の上面側部分の側面と面一に形成され、爪部１８０ｉの開口部Ｋ２側の面（長辺方向構成部１７２側とは反対側の面）は、開口部Ｋ２の上面側部分の側面と面一に形成され、爪部１８０ｊの外側の面（長辺方向構成部１７０側とは反対側の面）は、長辺方向構成部１７２の外側の側面（長辺方向構成部１７０側とは反対側の側面）と面一に形成されている。
【００８２】
なお、取付部１５０は、透明部材により形成されており、取付部１５０を介して本体部６０内に案内された釣糸を視認することができる。なお、図２では、取付部１５０は不透明部材のように描かれているが、実際には、透明部材により形成され、図８に示すように、内部を視認できるようになっている。なお、取付部１５０は、透明部材でなくても、半透明部材等透光性を有する部材としてもよい。
【００８３】

また、マット２００は、直方体形状の弾性部材（例えば、発泡ポリエチレン、発泡ウレタン、発泡ゴム等の発泡合成樹脂）により形成され、釣り針を挿入するための複数（図２、図８においては３本）の切込みが形成されている。該切込みは、マット２００の長手方向に上面側から下面側に貫通して直線状に形成されている。３つのマット２００は、同大同形状に形成され、枠状部８０と枠状部１００と枠状部１２０に嵌合する大きさに形成されている。なお、マット２００の高さ方向の長さは、取付部１５０を本体部６０に取り付けた状態において、本体部６０の内底面から取付部１５０の上面までの長さとするのが好ましい。

【００８４】

本実施例の釣り用仕掛け収納ケース５を組み立てるには、内側ケース５０において、取付部１５０における爪部を本体部６０における対応する爪部に係合した状態として、内側ケース５０を組み立てる。取付部１５０における爪部が本体部６０における対応する爪部に係合した状態では、枠状部８０の上面が開口部Ｋ１の上面側部分の周縁部１５０－１０の底面に接し、開口部Ｋ１の上面側部分の側面が枠状部８０の内側の側面と面一となり、また、枠状部１００の上面が開口部Ｋ２の上面側部分の周縁部１５０－１２の底面に接し、開口部Ｋ２の上面側部分の側面が枠状部１００の内側の側面と面一となり、また、枠状部１２０の上面が開口部Ｋ３の上面側部分の周縁部１５０－１４の底面に接し、開口部Ｋ３の上面側部分の側面が枠状部１２０の内側の側面と面一となる。

【００８５】

内側ケース５０を組み立てたら、内側ケース５０を外側ケース１０の本体部２０の容器状部２２内に収納して、突状部６４－２、６４－３が、容器状部２２の側壁部２２ｄの内側から突出した突状部２１に係止させ、突状部６４－１、６４－４が、容器状部２２の側面部２２ｂの内側から突出した突状部に係止させて、内側ケース５０を本体部２０に固定し、図２に示す状態とする。

【００８６】

上記構成の釣り用仕掛け収納ケース５の使用状態について説明する。釣り用仕掛け収納ケース５は、釣り用仕掛け（魚釣り用仕掛け）を収納するのに使用する。すなわち、図２に示すように、外側ケース１０における蓋部３０を本体部２０に対して開状態として（図１のように、蓋部３０が本体部２０に対して閉じた状態の場合には、係止部２４を回動させて突状部３４との係止を解除して、蓋部３０を本体部２０に対して回動させて、蓋部３０を開状態とする）、釣り針に釣糸（具体的には、ハリス）が取り付けられた釣り用仕掛けを収納するには、釣り針をマット２００に固定し、釣糸を取付部１５０に形成された細長形状の開口部に挿通する。すると、本体部６０には、ガイド部９０、９２、１３０、１３２が設けられ、さらに、側壁部６４に湾曲部６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈが設けられているので、釣糸を内側ケース５０の本体部６０における収納空間（側壁部６４の内側で、枠状部８０、１００、１２０の外側の空間）内を円滑に案内することができる。

【００８７】

例えば、長辺方向構成部１６８に形成された開口部Ｋ２１～Ｋ２４から釣糸を挿通する場合には、ガイド部９０側に挿通した場合には、ガイド部９０に案内され、釣糸が長い場合には、短辺部６４ｂに沿って案内され、湾曲部６４ｆに案内され、さらに、長辺部６４ｃに沿って案内される。また、ガイド部９２側に挿通した場合には、ガイド部９２に案内され、釣糸が長い場合には、短辺部６４ｄに沿って案内され、湾曲部６４ｇに案内され、さらに、長辺部６４ｃに沿って案内される。

【００８８】

また、長辺方向構成部１７０に形成された開口部Ｋ３１～Ｋ３４から釣糸を挿通する場合には、ガイド部１３０側に挿通した場合には、ガイド部１３０に案内され、釣糸が長い場合には、短辺部６４ｂに案内され、湾曲部６４ｅに案内され、さらに、長辺部６４ａに沿って案内される。また、ガイド部１３２側に挿通した場合には、ガイド部１３２に案内され、釣糸が長い場合には、短辺部６４ｄに沿って案内され、湾曲部６４ｈに案内され、さらに、長辺部６４ａに沿って案内される。

【００８９】
　また、長辺方向構成部１６６に形成された開口部Ｋ１１～Ｋ１４から釣糸を挿通する場合には、湾曲部６４ｅ側に挿通した場合には、釣糸は湾曲部６４ｅに案内され、釣糸がさらに長い場合には、ガイド部９０、１３０の先端と短辺部６４ｂの間を通って、湾曲部６４ｆに案内され、また、湾曲部６４ｈ側に挿通した場合には、釣糸は湾曲部６４ｈに案内され、釣糸がさらに長い場合には、ガイド部９２、１３２の先端と短辺部６４ｄの間を通って、湾曲部６４ｇに案内される。
【００９０】
　また、長辺方向構成部１７２に形成された開口部Ｋ４１～Ｋ４４から釣糸を挿通する場合には、湾曲部６４ｆ側に挿通した場合には、釣糸は湾曲部６４ｆに案内され、釣糸がさらに長い場合には、ガイド部９０、１３０の先端と短辺部６４ｂの間を通って、湾曲部６４ｅに案内され、また、湾曲部６４ｇ側に挿通した場合には、釣糸は湾曲部６４ｇに案内され、釣糸がさらに長い場合には、ガイド部９２、１３２の先端と短辺部６４ｄの間を通って、湾曲部６４ｈに案内される。
【００９１】
　例えば、図８に示すように、釣り針３０２（図８においては、イカリ針）と該釣り針３０２に取り付けられた釣糸３０４（具体的には、ハリス）とを有する釣り用仕掛け３００を収納するには、釣り針３０２をマット２００に固定する。釣り針３０２をマット２００に固定するには、釣り針３０２の針をマット２００の切込みに差し込む。その後、釣糸３０４を取付部１５０に形成された細長形状の開口部Ｋ３４に挿通する。すると、本体部６０には、ガイド部１３２が設けられているので、釣糸３０４はガイド部１３２に沿って湾曲して案内され、短辺部６４ｄに小さな角度で当接するので、短辺部６４ｄに沿って円滑に案内され、さらに、湾曲部６４ｈに沿って円滑に案内され、さらに、長辺部６４ａに沿って案内される。
【００９２】
　また、本体部６０において、取付部１５０に設けられた爪部１８０ａ～１８０ｊと係合する爪部は、側壁部６４の外側の面と枠状部１００の内側に設けられていて、内側ケース５０の本体部６０における収納空間（側壁部６４の内側で、枠状部８０、１００、１２０の外側の空間）内には設けられていないので、釣糸を案内する際に、釣糸が爪部に接触して案内の支障となるおそれがない。
【００９３】
　また、取付部１５０は、透明部材により形成されているので、釣糸の様子を取付部１５０の側から視認することができる。
【００９４】
　また、釣り用仕掛け収納ケース５は、外側ケース１０と、内側ケース５０に分かれているので、内側ケース５０の構成を変えることにより、外側ケース１０を他の用途にも使用することができる。
【００９５】
　なお、上記の説明において、ガイド部は、長辺部８６と長辺部１２６に形成されているとしたが、複数の枠状部において隣り合う枠状部における互いに対向する長辺部のいずれかから連設するようにすればよく、例えば、長辺部１０２及び長辺部１０６からガイド部を連設するようにしてもよい。その場合には、ガイド部を外側に湾曲するように形成する。
【００９６】
　また、枠状部は３つ設けられるとして説明したが、３つ以上であればよく、その場合には、長辺部６４ａに沿って形成され長辺部６４ａと対向する枠状部と、長辺部６４ｃに沿って形成され長辺部６４ｃと対向する枠状部以外の枠状部の少なくともいずれかに、爪部を形成する。
【００９７】
　また、上記の説明においては、釣り用仕掛け収納ケース５は、外側ケース１０と内側ケ

ース５０とを有するものとして説明したが、外側ケース１０の本体部２０の内側壁（つまり、側壁部２２ｂ～２２ｅの内側の側面）をケース本体部６０の側壁部６４の内側壁６４－Ｎと同様の構成とし、本体部２０の底面部２２ａに枠状部８０、１００、１２０と、ガイド部９０、９２、１３０、１３２を設けた構成としてもよい。その場合には、内側ケース５０は省略され、また、側壁部６４の外側に設けられた爪部（係合部６５ａ、６５ｂ、６５ｃ、６５ｄと凹部７０ａ、７０ｂに設けられた爪部）は、本体部２０の内側壁に形成し、取付部１５０におけるこれらの爪部と係合する爪部１８ａ～１８０ｇ、１８０ｊは、外側を向くように形成する。その際、本体部２０の内側壁に形成する爪部は、なるべく上側の位置に設けることにより釣糸が爪部に引っかかるのを防止することができる。また、側壁部６４では、長辺部６４ａ、６４ｃの内側の面６４ａ－１、６４ｃ－１は円弧状に湾曲した膨出面を呈しているが、このように本体部２０に枠状部やガイド部を形成する場合、本体部２０の内側壁（内側の側面）は、平面状とする。

【００９８】

また、上記の説明において、取付部１５０は本体部６０に対して爪部を介して取り付けられるとしたが、他の方法でもよく、例えば、取付部１５０を爪部を省略して上面取付部１６０のみの構成とし、本体部６０に接着剤により固着してもよい。

【００９９】

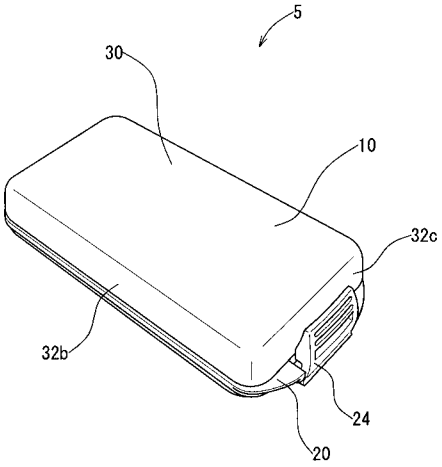
なお、上記における説明において、「内側壁」は「内側面」、「内側の面」としてもよい。

【符号の説明】

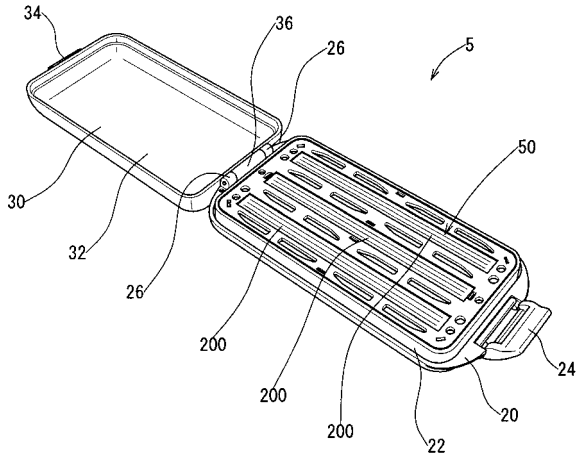
【０１００】

５　釣り用仕掛け収納ケース
１０　外側ケース
２０、６０　本体部
３０　蓋部
５０　内側ケース
２２ａ、６２ａ、６２　底面部
２２ｂ～２２ｅ、３２ｂ～３２ｅ、６４　側壁部
６４ａ、６４ｃ　長辺部
６４ｂ、６４ｄ　短辺部
６４ｅ、６４ｆ、６４ｇ、６４ｈ　湾曲部
２１、３４、６４－１、６４－２、６４－３、６４－４、６６ａ、６６ｂ、６６ｃ、６６ｄ　突状部
６５ａ、６５ｂ、６５ｃ、６５ｄ　係合部
６８、７２、１１２、１８０ａ、１８０ｂ、１８０ｃ、１８０ｄ、１８０ｅ、１８０ｆ、１８０ｇ、１８０ｈ、１８０ｉ、１８０ｊ　爪部
７０ａ、７０ｂ、１１０ａ、１１０ｂ、１１０ｃ、１１０ｄ　凹部
８０、１００、１２０　枠状部
８２、８６、１０２、１０６、１２２、１２６　長辺部
８４、８８、１０４、１０８、１２４、１２８　短辺部
９０、９２、１３０、１３２　ガイド部
１５０　取付部
１６０　上面取付部
１６２、１６４　短辺方向構成部
１６６、１６８、１７０、１７２　長辺方向構成部
２００　マット
６２ａ、６２ｂ、Ｋ１、Ｋ２、Ｋ３、Ｋ１１、Ｋ１２、Ｋ１３、Ｋ１４、Ｋ２１、Ｋ２２、Ｋ２３、Ｋ２４、Ｋ３１、Ｋ３２、Ｋ３３、Ｋ３４、Ｋ４１、Ｋ４２、Ｋ４３、Ｋ４４　開口部
Ｋ５１、Ｋ５２、Ｋ５３、Ｋ５４　切欠部

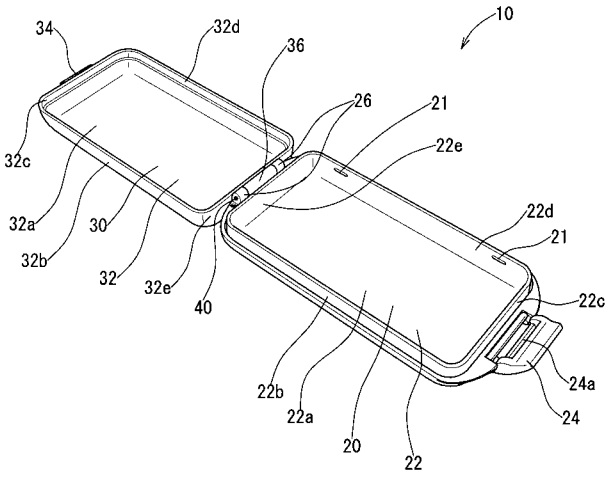
【図１】


5
30
10
32c
32b
24
20

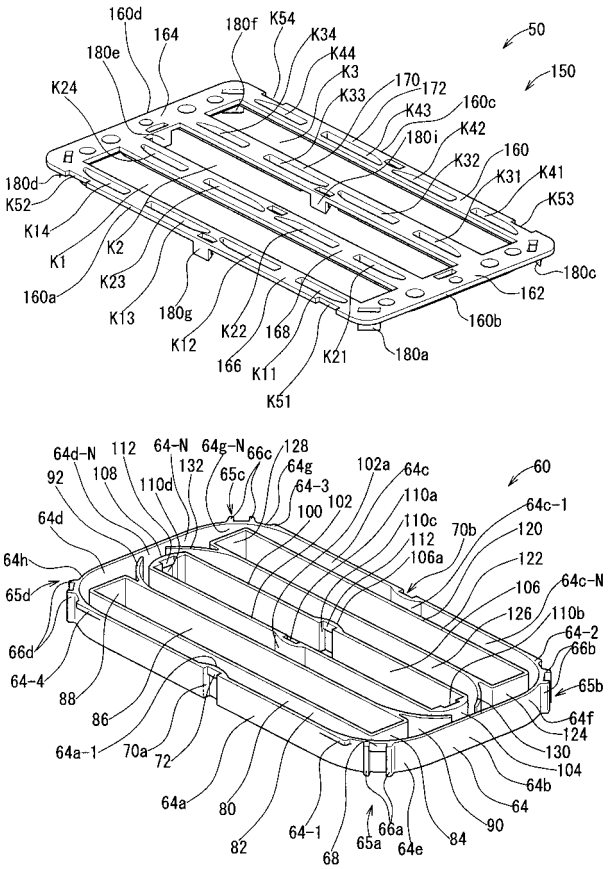
【図２】


34
36
26
5
50
30
32
26
200
200
200
24
20
22

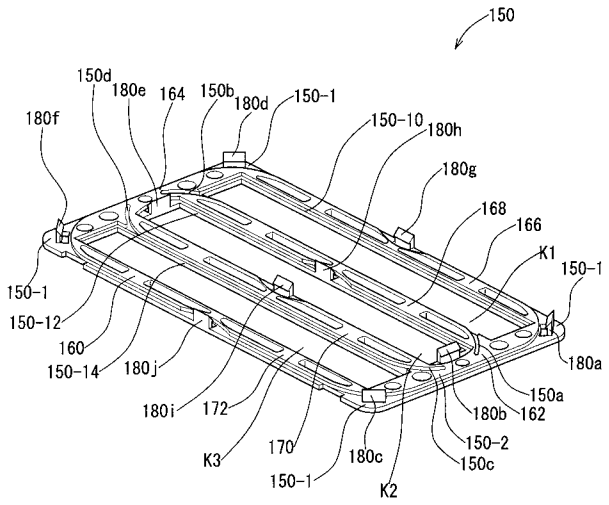
【図３】


10
34
32d
36
26
21
22e
32c
32a
30
32b
32
32e
40
22d
21
22c
24a
24
22b
22a
20
22

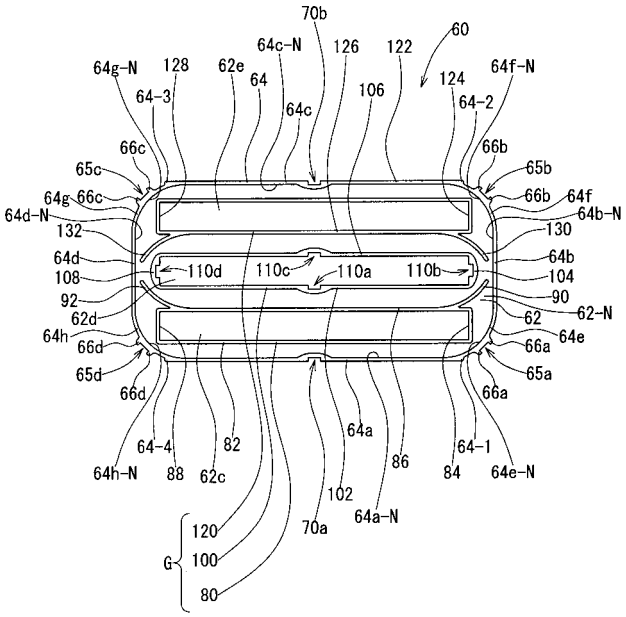
【図４】


160d
164
180f
K54
K34
K44
K3
K33
170
172
160c
K43
K42
180i
K32
160
K31
K41
K53
50
150
180e
K24
180d
K52
K14
K1
K2
K23
160a
K13
180g
K12
K22
168
166
K11
K21
K51
180a
160b
162
180c
64d-N
112
64-N
64g-N
66c
128
92
108
110d
132
65c
64g
64-3
102a
64c
110a
64d
100
102
110c
112
106a
70b
64c-1
120
64h
122
65d
106
64c-N
126
110b
64-2
66d
66b
64-4
88
86
65b
64f
124
64a-1
70a
72
130
104
64b
64a
80
64
90
82
64-1
66a
65a
64e
84
68
60

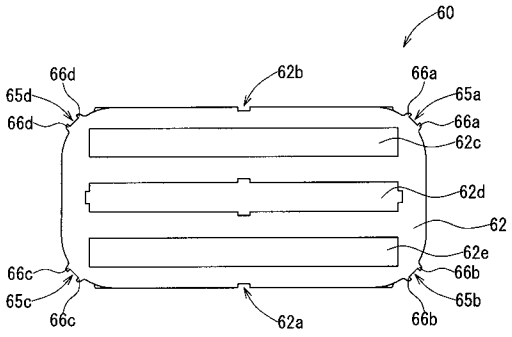
【図５】


150
150d
180e
164
150b
180d
150-1
180f
150-10
180h
180g
168
166
K1
150-1
150-1
150-12
160
150-14
180j
180i
172
K3
170
150-1
180c
K2
180b
162
150a
150-2
150c
180a

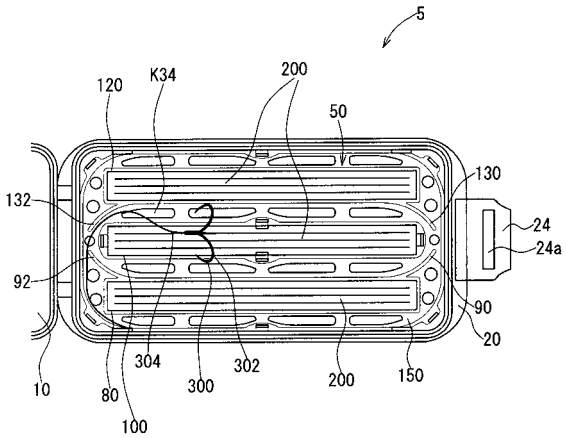
【図６】


70b
64c-N
126
122
60
64g-N
128
62e
64
64f-N
64-3
64c
106
124
64-2
66c
66b
65c
65b
64g
66c
66b
64f
64d-N
64b-N
132
130
64d
110d
110c
110a
110b
64b
108
104
92
90
62d
62
62-N
64h
66d
64e
66a
65d
65a
66d
66a
64-4
82
64a
64-1
64h-N
88
62c
86
84
64e-N
102
64a-N
120
70a
G
100
80

【図７】


60
66d
62b
66a
65d
65a
66d
66a
62c
62d
62
62e
66c
66b
65c
65b
66c
62a
66b

【図８】


5
120
K34
200
50
130
132
24
24a
92
90
20
10
80
304
300
302
200
150
100